

Press Release

2007 年 11 月 19 日

業界初！走行装置付きリフターを採用

安全性、環境にも配慮した 大型工作機械の画期的な搬入方法

森精機製作所は、大型工作機械の搬入に使用する“**走行装置付きリフター**”を採用、利用を開始いたします。

従来、25 ton 以上の大型機をお客様の工場へ搬入する際には、80 ton 以上のクレーン車が必要でした。そのような大型クレーン車は重量、大きさの制限により完成状態では走行できないため、操縦席、マストなどの各部位に分解して 8 台以上のトレーラーに積載し工場まで搬送、現地で組立を行っていました。

今回採用したリフターは、そのような大型クレーン車に代わって大型機の搬入をスムーズに行い、多くのメリットを生み出します。主なメリットは以下の通りです。

1. スペース、時間、人員を削減します。

大型クレーン車は現地組立のため、組立エリア、複数台のトレーラーの待機場所の確保が必要で、組立は 8 名程度の作業員で半日以上かかっていた。本リフターは現地組立が不要のため 1 台の 15 ton トラックの待機場所の確保だけでよく、リフターのセッティングは 1 名の作業員で 1 時間で可能なため、搬入に要するスペース、時間、人員を大幅に削減します。

さらに、工場内はクレーン車が入れないためフォークリフトなどの搬送装置を利用していましたが、リフターの場合は足元に装備された油圧走行装置(四輪駆動)によって工場内も単独で走行可能なため、**工場内専用の搬送装置が不要**になります。

2. 作業の安全性が向上します。

リフターの操作は無線式の遠隔操作となっているため、**周囲を 360 度見渡しながらの操作**が可能です。

また、クレーン車では機械を吊り上げるとどうしても不安定になりますが、リフターは中心に機械を吊るため**走行時の安定性**にも優れています。

3. 環境に優しい。

大型クレーン車は複数台のトレーラーで搬送するため、トレーラー何台分もの二酸化炭素が排出されていました。本リフターは 1 台の 15 ton トラックで搬送が可能となるため、二酸化炭素排出量を大きく削減します。例えば 150 ton クレーン車とリフターを比較すると、**80%以上の二酸化炭素排出量削減**が可能となります。

本リフターは弊社の複合加工機 NT シリーズなど大型機の搬入に最適です。

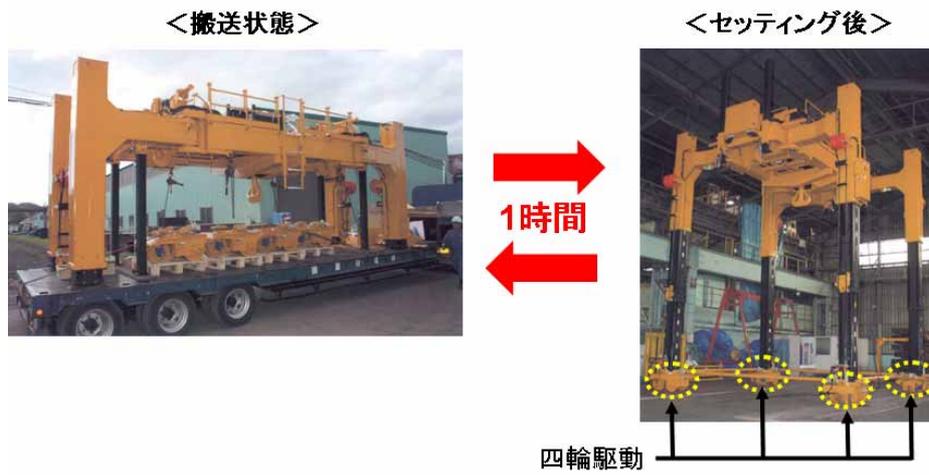


図: 走行装置付きリフターの外観